

平成 23 年 2 月 24 日

株式会社林原

株式会社林原生物化学研究所

株式会社林原商事

保全管理人 弁護士 松嶋英機 様

林原自然科学博物館の今後について（お願い）

全国科学博物館協議会理事長

近 藤 信 司



博物館は、人類共有の財産である貴重な資料を分かちあい、文化を継承、創造していくことを目的として設置された機関であり、過去と現在と未来をつなぐことにより、豊かな感性と知性をもつ活力ある社会を築くことに貢献する重要な役割を担っています。

林原自然科学博物館は、「生物の歴史から人間を考える」という理念の下、展示施設の開設に向けて準備を進めてきていますが、その過程では、松下電器との共同開発による「ダイノゾアファクトリー」において、ゴビ砂漠恐竜発掘調査隊の成果を独自の手法で公開するなど、多くの先進的な取り組みを実施してきました。また、大型類人猿研究で京都大学霊長類研究所と連携した行動生物学や脳科学での業績や、古生物学の分野でのモンゴル科学アカデミーとの共同調査、学術標本を数多く所蔵するなど、研究を担う重要な中核的機関として活動しています。

このたび、会社更生法適用に当たって、このような社会的にも学術的にも意義のある林原自然科学博物館の将来活動が不安視されています。博物館事業の振興に寄与することを目的として設置された全国科学博物館協議会として、林原自然科学博物館の所蔵する標本資料や研究成果が散逸されることなく、展示施設の開設、並びに展示・教育活動及び研究活動がこれまでと同様に継続あるいは円滑に実施されることを強く要望します。関係の皆様の特段のご理解とご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

連絡先： 全国科学博物館協議会 事務局 jcsm-info@kahaku.go.jp

(110-8718 東京都台東区上野公園 7-20 国立科学博物館 事業推進部 連携協力課内 亀井)